

校庭に東風吹いて

声を出さず心を閉ざした少女、
貧困から問題を起こす少年、
彼らと向き合う教師たちの情熱で
〈涙〉は〈希望〉に変えられるのだろうか。

いよいよ
8月より全国公開！

主演：沢口靖子さんのコメント

場面緘黙の症状をもった子どもたちがいるということを私自身も初めて知りました。家では話せるのに幼稚園や学校では話したくても話せない。なんと辛いことでしょう。作品を通して、多くの方々に知っていただく機会になることを願います。

沢口靖子 プロフィール

1984年第1回「東宝シンデレラ」でグランプリ。1984年映画「ゴジラ」で日本アカデミー賞新人俳優賞を受賞。NHK連続テレビ小説『つぐし』のヒロインを演じ全国的に人気と知名度を定着させる。1999年スタートの『科捜研の女』（テレビ朝日）に主演し、人気TVドラマとして現在も続いている。2015年第23回橋田賞を受賞。

沢口靖子

岩崎未来 向鈴鳥 村田雄浩 星由里子

遠藤久美子 柊子 ひし美ゆり子 嶋尾康史 袴キララ 本間淳志 仁科貴 森日菜美 大塚まさじ 吉山咲羽 岡野天星 眞鍋歩珠 鳥井咲帆



原作：柴垣文子（新日本出版社・刊）／監督：金田敬／脚本：長津晴子

企画・製作：桂社三郎／プロデューサー：酒井謙人 三谷一夫（映画24区）／撮影：志賀葉一・飯岡聖英／照明：赤津淳一／録音：福田伸／編集：菊池純一／美術：寺尾淳／音楽：山谷知明／助監督：小野寺昭洋／制作担当：大和田晃／VE：中村貴志／制作主任：中村秀康／衣裳：手塚勇／メイク：綿屋紀子／技術：パナソニック映像／製作：映画「校庭に東風吹いて」製作委員会 ゴーゴービジュアル企画／配給・宣伝：ゴーゴービジュアル企画 映画「校庭に東風吹いて」配給委員会

制作協力：京都府南山城村／助成：文化庁文化芸術振興費補助金／企業メセナ協議会認定作品

©2016 映画「校庭に東風吹いて」製作委員会

子どもの生きる力を信じ、私達はどう生き、 教育にどう取り組むのか！



物語

三木知世は、転勤で小学3年のミチルのクラスを担当する。ミチルは、家では少し話せるのに学校では話せない。一人でトイレにいけない、一人で給食を食べられない、歌えない、絵を描かない……。『場面緘黙症』の疾患を持つミチルに、知世は、共感と愛情をもって接する。

同じクラスに、問題行動の多い安川純平がいる。離婚した母親の理恵と純平は貧しい生活を送っている。教室に飛び込んで来た青いインコを巡ってミチルと純平は幼い友情を芽生えさせる。しかしある日インコが逃げ出したのをミチルのせいだと誤解した純平はミチルを責めてしまう。ショックを受けたミチルは不登校になってしまう。知世はミチルの母、富子と交換ノートを始めるが様々な問題に奔走し続けた知世は、過労で倒れてしまう。

知世は子どもたちの〈涙〉を〈希望〉に変えることができるのだろうか。

この映画に出てくる場面緘黙症とは

家庭などでは話することができるのに、社会不安(社会的状況における不安)のために、学校や幼稚園といったある特定の場面、状況では全く話すことができなくなる現象を言う。幼児期に発症するケースが多い。

解説

この映画『校庭に東風吹いて』は、場面緘黙症の心の悩みを抱えた少女、貧困から様々な問題を起す少年の絶望と苦しみなど、子ども達の困難に寄り添い、子ども達に愛情を貰った女性教師の熱い感動の物語です。

柴垣文子の渾身の小説『校庭に東風吹いて』をもとに、脚本を担当するのは気鋭の長津晴子。監督は『アンダンテ稲の旋律』の金田敬。企画・製作は『ひまわり〜沖縄は忘れないあの日の空を〜』の桂壮三郎。2016年春、大阪及び京都府下の南山城村を舞台に撮影は敢行され、7月に完成予定。本作品は、映画『校庭に東風吹いて』をつくる支援者、団体による全国規模の製作運動が展開されました。



原作者：柴垣文子さんのコメント



学校で話せない場面緘黙症の子どもの悲しみ、貧しさにあえぐ子どもの苦しみ。渦巻いている子どもたちの声なき声を聴き、『いつか、きっと』という心の奥の希望を掘り起こしたい。そんな待望の映画の完成が嬉しい。多くの方にみていただき、未来へのまなざしをともにしたいと願っています。

柴垣文子の渾身の小説『校庭に東風吹いて』 映画化への熱い期待高まる！

- 読むほどに胸が熱くなる。こんな先生に出会いたかった。(30代 女性)
- この小説は広くて深い。きっと世の中は変えられると語りかけています。(60代 男性)
- いじめや不登校の絶えない学校ですが、子ども達の未来を切り拓く文学が生まれたと思います。(50代 男性)



「子どもの明るい未来を願い真の教育を国民の手に取り戻すために、製作・上映運動の賛同を呼び掛けます。」

製作委員会代表：桂壮三郎

市場原理主義競争による貧困と格差は広がり、教育危機は深刻さを増しています。映画『校庭に東風吹いて』は、全ての子ども達の明るい未来を願い、真の教育を国民の手に取り戻す教育運動の新たな前進に向けて企画された作品です。本作の製作趣旨を生かした、製作支援運動を成功させ、映画の完成後は、自主上映運動を全国で展開させ映画の文化運動を大きく普及させましょう。何卒、本映画へ暖かいご支援を心からお願い申し上げます。

映画『校庭に東風吹いて』製作・上映を成功させる全国配給ネットワーク

京都映画センター	☎075-256-1707	山形県映画センター	☎023-641-0343
大阪教映社	☎06-6714-0551	栃木県映画センター	☎0288-22-2610
岡山映画普及センター	☎086-831-1238	茨城映画センター	☎029-226-3156
奈良県映画センター	☎0742-23-1147	埼玉映画文化協会	☎048-822-7428
山陰映画センター	☎0852-25-5713	独立映画センター小田	☎090-2471-6779
鳥取映画センター	☎0857-22-9050	独立映画センター熊谷	☎03-3758-8622
シネマキャラバンV・A・G	☎082-285-8165	シネマ・ワン	☎090-8422-3081
徳島映画センター	☎088-631-5847	岐阜教育映画センター	☎058-215-9671
九州シネマアルチ	☎092-712-5297	長野映研	☎026-232-1226
熊本映画センター	☎096-381-1214	三重県映画センター	☎059-228-1810
沖縄県映画センター	☎098-856-2155	平沢・佐藤普及チーム	☎090-4135-2563
青森デジタルシネマ	☎017-762-7167		

完成披露有料試写会・日程

- 東京:2016年8月3日(水) 銀座プロッサムホール 2回上映(お問い合わせ:04-2968-4385)
- 京都:2016年8月7日(日) 南山城村やまなみホール 数回上映予定(お問い合わせ:075-256-1707)
- 大阪:2016年9月9日(金) ドーンセンターホール 3回上映(お問い合わせ:06-6714-0551)

お問い合わせ

映画『校庭に東風吹いて』製作実行委員会 〒359-1146 埼玉県所沢市小手指南2-23-11 代表:桂壮三郎
TEL.04-2968-4385 FAX.04-2995-7911 E-mail:gogo@ggvp.net [携帯]090-8502-9260

お問い合わせ先(配給会社)